

# 交通は ライフラインは

## ■道路・高速

◆東北の通行止め国道（数字は主な通行止め国道の号、12日夕）

【青森】338（六ヶ所村、三沢市）、279（風間浦村）

【岩手】283（釜石市）、45（陸前高田市、山田町）、106（宮古市）、342（一関市）

【秋田】日本海沿岸道（岩城IC—にかほ市）、13（雄勝こまちIC—湯沢IC）

【宮城】45（志津川町一本吉町、登米市、石巻市、東松島市、仙台港北IC—多賀城市、南三陸町、気仙沼市）、108（石巻市）、6（山元町）、346（涌谷町、登米市）、398（登米市、石巻市）、349（角田市）、286（川崎町）、113（白石市）、347（大崎市）、457（白石市、栗原市、仙台市・新塩沢橋付近）

【福島】6（相馬市、新地町、南相馬市、大熊町、双葉町、浪江町、富岡町、広野町、いわき市）、4（福島市）、118（天栄村、須賀川市）、459（猪苗代町）、114（浪江町）、288（双葉町）

◆高速(12日午後8時50分現在)

関東地方と東北地方を結ぶ東北道の浦和～碓ヶ関、常磐道の三郷JCT～常磐富岡と山元～亘理、福島県の太平洋側と新潟県の日本海側とを結ぶ磐越道の、いわきJCT～津川で、それぞれ上下線とも一般車両が通行止めとなっている。

## ■電力

東北電力によると、12日午後3時現在、東北地方のほぼ全域、約385万戸で停電状態が続いているとみられるという。復旧の見通しはたって

いない。特に津波被害を受けた地域は困難という。

停電戸数は青森が約66万戸、岩手が約77万戸、秋田が約50万戸、宮城が約136万戸、山形が約38万戸、福島は約18万戸となっている。

◇

電気が復旧した際の漏電による火災に注意が必要だ。各電力会社は、自宅が停電している場合、出かけるときはブレーカーを切るよう呼びかけている。その際、電気ポットやドライヤーなどをコンセントから抜くよう呼びかけている。

## ■水道

東北や関東地方など17道県の断水戸数が12日午後5時半現在、少なくとも140万戸に及んでいると厚生労働省が発表した。宮城県登米市や福島市では各8万戸超、千葉県では県企業局分だけでも約25万戸が断水。状況を把握できない自治体も多い。

## ■ガス

社団法人日本ガス協会のまとめによると、東日本大震災の被災地で12日午後4時半現在、東北と関東の13ガス事業者が7県の計約44万5千戸の供給を止めている。その中で最大規模の仙台市ガス局は、全供給区域の約36万戸で供給を停止。復旧の見通しは立っていない。

◇

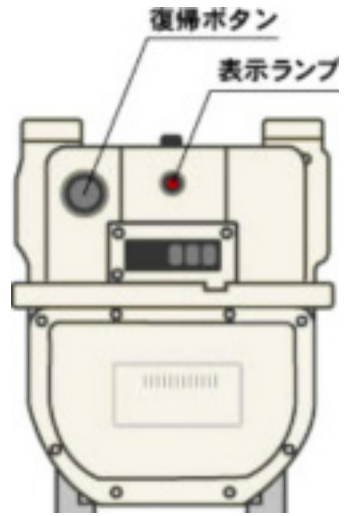
日本ガス協会は大地震後の二次災害を防ぐため、ガスの使用について次の3点を強調している。

①ガスが漏れて、臭いがしないか、一度確認を。

②ガスの臭いがすれば、火は使わない。ガス栓、器具栓、メーターガ

ス栓を閉めて窓を開け、最寄りのガス会社に連絡する。その際、スイッチから火花が飛ぶ恐れがあるため、照明や換気扇などの電気のスイッチには絶対に手を触れてはならない。

③ガスの臭いがしない場合でも、ガス給湯器の排気筒のはずれなど、ガス機器の給排気設備に異常があれば、ガス機器の使用をやめる。協会によると、マイコンメーターが震度5程度の揺れを感じれば、自動的にガスを遮断す



る。その場合、ガス機器を止めた上で、マイコンメーター＝写真＝の「復帰ボタン」のキャップを外し、赤い表示ランプがつくまでボタンを押す。3分後、ランプの点滅が消えていればガスが使える。

## ■電話

NTT東日本によると、12日午後4時現在、宮城県・岩手県を中心に加入電話81万300回線が不通となっている。光ファイバー回線を使った光IP電話も22万5千回線が不通だ。大半は停電が原因とみられる。

携帯電話もつながりにくい状態だ。NTTドコモによると、12日午後5時現在、東北を中心に6720基地局が使用不能で、通話やデータ通信ができない。KDDIでは東北、北海道で利用できなくなっていた災害用伝言板が復旧した。一方、ソフトバンクモバイルは、ショートメッセージサービスを11日から1週間分を無料に。公衆無線LANも12日に無料開放した。